

## 令和4年教育委員会 第12回定例会

1 日 時 令和4年12月22日(木) 13時30分開会 14時45分閉会

2 場 所 教育委員会庁舎1階 第1会議室

3 出席委員

教育長	林 秀 樹
教育委員	小 澤 倭文夫
教育委員	荒 田 純 司
教育委員	常 見 幸 司
教育委員	黒 田 仁 美

4 欠席委員 なし

5 出席職員

教育部長	薄 井 洋 仁
教育部次長	鈴 木 健 介
学校教育支援室長	大 山 倫 生
学校教育支援室主幹 (教育課程・研修担当)	菊 野 幸 治
学校教育支援室主幹 (生徒指導・特別支援担当)	谷 口 剛
学校教育支援室主幹 (学務担当)	吉 田 健 一
施設管理課長	柿 岡 佳 憲
生涯学習課長	山 澤 亮 司
新総合体育館整備担当主幹	近 藤 玲 司
生涯スポーツ課長	富 樫 誠
美術館館長	苫 名 真
美術館副館長	久 保 壽 史
教育総務課総務課長	森 田 裕 規
教育総務課総務係長	松 本 義 雄
教育総務課総務係	藤 原 博 貴

6 傍聴人 なし

7 議 題

- 協議第1号 令和5年度教育費予算案について
- 報告第1号 令和4年度北海道文化奨励賞の受賞について
- 報告第2号 令和5年度全国学力・学習状況調査について
- 報告第3号 子どもたちが選ぶ「ふるさと100選」発表会について
- 報告第4号 高島小学校温水プールの臨時休館について

報告第5号 令和4年度 第50回小樽市民大学講座の実績について  
報告第6号 望洋サッカー・ラグビー場について  
その他 寄附採納について

## 8 議 事

**教育長** ただ今から、教育委員会第12回定例会を開会いたします。  
本日の会議の議事録署名委員に、荒田純司委員を指名させていただきます。  
はじめに、お諮りいたします。

「協議第1号 令和5年度教育費予算案について」は、会議規則第13条第1項第3号により、「報告第6号 望洋サッカー・ラグビー場について」は、同項第5号により、それぞれ非公開とし、議事録については結果のみ記載することとし、最後に審議していただきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

**各委員** (異議なし)

**教育長** では、そのように進めさせていただきます。  
換気のためにも、適宜、休憩を入れたいと考えております。  
それでは、「報告第1号 令和4年度北海道文化奨励賞の受賞について」の説明をお願いします。

### **報告第1号 令和4年度北海道文化奨励賞の受賞について**

**美術館副館長** 「報告第1号 令和4年度北海道文化奨励賞の受賞について」御説明いたします。  
資料の1枚目を御覧ください。

今回、受賞された方は、上嶋秀俊氏で小樽市立銭函中学校の美術教諭であり、12月19日に授賞式がありました。

資料の2枚目を御覧ください。

北海道文化奨励賞とは、北海道表彰規則に基づくもので「北海道の芸術、科学、教育その他の文化の向上発達に関しその功績が顕著であって、かつ、今後の活動が期待されるもの」が対象となり、今年度、上嶋先生を推薦し見事に受賞されたものであります。

上嶋先生の功績等につきましては、苫名美術館館長より御説明いたします。

**美術館館長** この度、令和4年度北海道文化奨励賞に小樽市在住の美術家・上嶋秀俊さんが選ばれ、12月19日に授賞式があり、私も出席して参りました。

北海道文化奨励賞は「北海道の芸術、科学、教育その他の文化の向上発達に関しその功績が顕著であって、かつ、今後の活動が期待されるもの」に贈られる、つまり若手から中堅の方に贈られる賞で、毎年2名ないし3名に授与されています。

小樽関係では一昨年、令和2年度の武石英孝さん（現在は岩見沢市在住）に続いての快挙

となりました。

上嶋さんは56歳で、現在は銭函中学校で美術の先生をなさっています。

「いのち」や「光」「水」など一見形のない抽象的なテーマに取り組み、それを油彩や彫刻といった従来の枠を超えた斬新な方法で表現しています。

御覧いただいている作品は3年前に市立小樽美術館で発表された作品で、ここでは「いのちのかけら」というテーマで、ベニヤ板をオーガニックな形に切り、そこに色を塗ったものが壁一面に展開されています。

現代アートというと何となく難しく、とっつきにくい印象がありますが、上嶋さんの作品は子どもでも「きれいだなあ」「これ、なんだろう」といろいろな想像を広げられる親しみやすさも持っています。

大変精力的に活動をされていて、個展はもとより道内の数多くの現代アート展、さらには韓国やポルトガルといった海外の国際展にも出品されています。

小樽は昔から美術がさかんな街ではありますが、高齢化が進み、若手中堅の活躍が望まれて久しい中、上嶋さんの活動はひときわ目覚ましいものがあり、それがこのような大きな賞で認められたことは非常に心強く、喜ばしいことだと思います。

受賞を記念して、小樽市民のみなさんに広く知っていただきたく、来年の4月に、美術館のギャラリーで個展を開催したいと考えています。

**美術館副館長**      なお、資料の3枚目は、今年度受賞された方の一覧でございますので、参考にしてください。

説明は以上です。

**教育長**            それでは本件に関しまして、御質問・御意見等ございましたらお願いします。

**各委員**            (なし)

**教育長**            この方は全道的にもかなり著名であるのですか。

**美術館館長**      そうですね。

50代の中堅の方の中では、トップクラスに精力的に発表されており、普通は全道展や道展などに年に1度発表される方がほとんどなんですが、この方はグループ展なども含めてとにかく積極的に年に何度も発表していて、小樽だけでなく札幌、海外にも出されていて、本当にこれからの北海道を担っていくような活躍が期待される作家だと思いますので、我々としても応援していきたいと思っております。

**教育長**            美術館での個展は急遽4月に決まったということですよ。

**美術館館長**      そうですね、4月5日から9日がちょうど空いておりましたので、そこで急遽入れさせていただきますことになりまして、ご本人からも快諾を得ているところです。

教育長 分かりました。  
ぜひ教育委員の皆様にも見ていただければと思います。  
他にございますか。

各委員 (なし)

教育長 よろしいでしょうか。  
それでは、本件を終了させていただきます。  
続きまして、「報告第2号 令和5年度全国学力・学習状況調査について」の説明をお願いします。

### **報告第2号 令和5年度全国学力・学習状況調査について**

学校教育支援室主幹（教育課程・研修担当） 「報告第2号 令和5年度全国学力・学習状況調査  
について」御報告いたします。

令和5年度の調査実施日は、4月18日となっており、調査対象は、小学校第6学年と中学校第3学年の全児童生徒、調査内容の教科に関する調査は、小学校は、国語・算数、中学校は、国語・数学及び英語となっており、これまで同様、生活習慣や学習環境等に関する児童生徒質問紙調査と学校に対する質問紙調査も実施されます。

令和4年度からの主な変更点としまして、4の(1)、教科に関する調査では、令和5年度は、中学校において、英語の調査が実施されます。

中学校の英語については、平成31年度に続き、2度目の実施となります。

次に、4の(2)、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査では、今年度も児童生徒のICT端末を活用したオンラインによる回答方式が希望でき、本方式は、入力後すぐに自校の結果が集計され、児童生徒の生活習慣等の改善に生かせる良さがありますので、本市では、すべての学校で実施を希望しております。

オンラインでの児童生徒質問紙調査の実施時期につきましては、4月10日から5月16日までに、学校毎に指定された日に回答となります。

なお、国のシステム上、実施校には制限があり、全国の小学校で80万人、中学校で20万人規模を予定しているとのことですので、希望するすべての学校が実施できるかどうかは分かりません。

あくまでも、対象校は国が選定することとなります。

裏面を御覧ください。

次に、5の中学校英語「話すこと」調査について説明いたします。

英語は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」に関する問題については、記述式となっておりますが、「話すこと」に関する問題の解答は、口述式になります。

「話すこと」調査は、児童生徒のICT端末を活用し、オンラインの音声録音方式で行います。

調査の所要時間は、前回同様5分程度、準備や移動を含め15分程度となります。

調査日である4月18日に「話すこと」調査を実施する中学校「当日実施校」は全国で、500校程度が抽出されることとなり、その場合の時間割は、6の中ほどにあるように、生徒質問紙調査実施後の5時間目を想定しております。

なお、調査対象生徒数によって、ネットワーク環境を考慮して、5、6時間目に生徒を分けて実施することも可とされております。

また、その他の中学校の「話すこと」調査は、4月19日から5月26日までの間で、国が指定する日に分散して実施します。

なお、このことに係る特例的な措置として、中学校英語「話すこと」調査の結果については、当日実施校の結果から推定される全国値のみが公表され、都道府県別、指定都市別の公表はされません。

また、その他の中学校、期間内実施校の調査結果については参考値として当該学校とその設置管理者等に提供されますが、公表は行われません。

6の時間割につきまして、実施要領に基づき基本的なモデルをお示ししておりますが、児童生徒質問紙調査が、オンラインでの実施となった場合は、調査日ではなく国の指定する日に別に行われる場合もあります。

また、中学校英語「話すこと」調査の期間内実施校となった場合、調査日とは別に、国が指定する日に実施となります。

市教委としましては、調査実施に向けて、各学校との連携を図り、本調査が円滑かつ確実に実施することができるよう、体制の整備を行ってまいります。

報告は以上です。

**教育長** 本件に関しまして、御質問・御意見等ございましたらお願いします。

**各委員** (なし)

**教育長** 英語の「話すこと」調査は一度に出来ないから、何日間もかけてやるということですか。

**学校教育支援室主幹(教育課程・研修担当)** 国もどのくらいネットワークが繋がるのかというのを探りながらやっているようでして、来年の2月から3月にかけて、実際にシステムが動くかどうかを事前検証という形で確認するという話です。

4月に向けてそのようなことを試しながら、まずは500校規模で確認していくという予定になっております。

**教育長** 確認して調子が悪ければ、学校を変えるとかそういうこともあるかもしれませんね。

**学校教育支援室主幹(教育課程・研修担当)** そこは何とも言えないところではありますけれども、都度連絡を受けながら対応していきます。

**教育長** 前回英語をやったのが4年前の平成31年度ですか。

学校教育支援室主幹（教育課程・研修担当） はい。

このときについては、コンピュータ室に設置されているコンピュータに1台1台データを保存しながらやっていたので、そのデータをUSBメモリに保存して、それを文部科学省に提出するという形だったんですけども、今回はオンラインのクラウドに保存するという形になっておりますので、そういう意味で500校からまず実施するということと思います。

教育長 前回の英語の「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査というのは、本市はどういう状況だったんですか。

学校教育支援室主幹（教育課程・研修担当） 前回の平均正答率というところで見ますと、全国よりマイナス2ポイントということになっておりました。

全道平均も全国平均よりマイナス2ポイントですので、全道との比較では、プラスマイナスゼロということになります。

教育長 おおよそ全道並みだったということですね。  
実施日は少し早くなるんですかね。

学校教育支援室主幹（教育課程・研修担当） 昨年度が4月19日に実施されていますので、スケジュール感としては今年度も同様かと思われます。

教育長 分かりました。  
何か御質問等ございませんでしょうか。

各委員 （なし）

教育長 よろしいでしょうか。  
それでは、本件を終了させていただきます。  
続きまして、「報告第3号 子どもたちが選ぶ「ふるさと100選」発表会について」の説明をお願いします。

#### **報告第3号 子どもたちが選ぶ「ふるさと100選」発表会について**

学校教育支援室主幹（教育課程・研修担当） 「報告第3号 子どもたちが選ぶ「ふるさと100選」発表会について」御報告いたします。

委員の皆様には、先日、実施要項を送付させていただいたところですが、1月10日の13時から小樽市民センターにおいて、本市の児童生徒が、校区にある自分のおすすめの場所等について伝え合う機会を通して、ふるさと小樽のよさに気付き、郷土愛を育むことを目的とした、市政施行100周年記念行事、子どもたちが選ぶ「ふるさと100選」の発表会を実施します。

各学校から5名程度の児童生徒が出席し、パワーポイントを用いてそれぞれの校区のおすすめの場所等を紹介します。

当日は、子どもたちが、どのような視点で、どんな場所を選んだのかを楽しみに参観していただければと思います。

お忙しい日々とは存じていますが、出席していただけます教育委員の方は、12時50分までに、市民センターまでお越しいただきますよう、よろしく願いいたします。

以上でございます。

**教育長** 本件に関しまして、御質問・御意見等ございましたらお願いします。

**各委員** (なし)

**教育長** 子どもたち目線の発表なので、普段自分が見ているものと違った観点になる発表もあるのではないかなと思いますので、ぜひ見ていただければと思います。

よろしいでしょうか。

**各委員** (なし)

それでは、本件を終了させていただきます。

続きまして、「報告第4号 高島小学校温水プールの臨時休館について」の説明をお願いします。

#### **報告第4号 高島小学校温水プールの臨時休館について**

**施設管理課長** 「報告第4号 高島小学校温水プールの臨時休館について」御報告いたします。

資料中段の「経過・現状」を御覧ください。

東日本大震災の際、天井材や照明器具などの落下により、人的被害が生じたこともあり、学校施設の点検及び対策の強化を円滑に実施するよう文部科学省から要請があり、高島小学校温水プールの吊り天井が特定天井に該当するため、吊り天井落下防止対策としてプール天井に耐震防護ネット設置工事を平成28年度に実施しております。

「休館の理由」ですが、クロムメッキ鉄製の支持金具について、プール室内の湿気や塩素等の影響で一部腐食が進み、剥離した金属片がプール内水槽及びプールサイドに落下し、児童やプール利用者が金属片を踏んで怪我を負う危険性や、腐食が更に進むと支持金具が破断する恐れがあるため、クロムメッキ鉄製の支持金具をステンレス製へ全面更新を実施するものであります。

「休館の期間」につきましては、改修に当たり、水槽面上にある金具も改修が必要であり、プールの水を抜き、足場を組む必要があるため、工事期間中はプールの使用が出来なくなります。

そのため、1月16日(月)～3月17日(金)までの約2か月間を臨時休館とするもの

です。

これは、年間通じて利用者が比較的少ない冬期間になんとか施工出来ないか建設部と協議してきたものであります。

生涯スポーツ課を通じて、広報おたる、市のホームページ、利用団体へ個別にメールや郵便及び来館時に口頭で説明を予定しています。

工期の協議や議会の関係などもあり、教育委員会への報告に先立ち、正副議長、各会派代表へ報告し、市長へも議員へ報告する旨の報告を実施済みです。

教育委員会への報告と前後してしまいましたことをこの場を借りてお詫び申し上げます。報告は以上です。

**教育長** 本件に関しまして、御質問・御意見等ございましたらお願いします。

**各委員** (なし)

**教育長** 平成28年に工事したものがこういう形で錆が発生したということですね。

**施設管理課長** そうです。剥離した金属片が落下してしまったということです。

**教育長** 当時の施工方法に何らかの問題があったということだと思っておりますが、施工管理をした担当課としてはどういった見解を持っていますか。

**施設管理課長** 建設部に確認をしたところ、メーカーからは当時標準仕様として提案されていたということでございまして、吊り天井が特定天井に該当するという部分でも、高島プールについてはメーカーの標準仕様ということで、そのことを理解した上での設置だったと聞いております。

**教育長** 利用者の方々には公表しているのですか。

**施設管理課長** 既に10月頃には、期間は未定ですが年明け頃には休館になりますということを利用団体の方々にはお伝えしておりました。

元々利用者の方からも、剥離片がかなり危険であるとの御意見をいただいていたということもありまして、正式に休館期間が決まった際には利用団体並びに利用されている個人の方々にも窓口で通知をしております。

今のところは皆さん御理解をいただいているということ聞いております。

**教育長** この後の広報について、まだやる予定はあるのですか。

**施設管理課長** 広報おたる1月号に休館期間を掲載することになっています。

また、市のホームページでは既に休館期間については公表させていただいております。

教育長 広報をしっかりと、来たはいいけど利用できないといったことがないようにしてください。

施設管理課長 分かりました。

教育長 では、広報もよろしくお願いします。  
他にございませんか。

各委員 (なし)

教育長 それでは、本件を終了させていただきます。  
続きまして、「報告第5号 令和4年度 第50回小樽市民大学講座の実績について」の説明をお願いします。

#### **報告第5号 令和4年度 第50回小樽市民大学講座の実績について**

生涯学習課長 「報告第5号 令和4年度 第50回小樽市民大学講座の実績について」御報告いたします。

資料を御覧ください。

第50回の小樽市民大学講座については、7月の定例会で御説明いたしました。小樽市制100周年記念事業の冠も付して、9月末から10月にかけて、3年ぶりに開講いたしました。

「1 講座概要」のとおり、今回は50回目の記念開催ということもあり、道外の講師を中心に招きました。漫画家・文筆家のヤマザキマリ氏、元プロ野球選手で野球解説者の森本稀哲氏、小樽商科大学学長の穴沢眞氏、法政大学社会学部教授の堀川三郎氏、小説家の朝倉かすみ氏の5名をお願いしております。

「2 受講者数など」ですが、「(1) 受講者の内訳」のとおり、全講座券、1講座ごとの券の合計で385人の方に購入いただき、約65%の253人が女性となっています。

「(2) 受講者の年代割合及び市内在住率」を見ると、年代については60代と70代の方々が55%を占めるという状況で、約1割が市外在住の方でありました。

市外の方は内訳を記載していますが、東京の方はヤマザキマリさん、大阪の方は堀川三郎さんの講座を申し込まれておりました。

「(3) 各講座の受講者数」ですが、市民センターで開催したヤマザキマリさんの第1講座には253人にお越しいいただき、第5講座までの5回では、延べ665人に受講していただきました。

3年ぶりでコロナ禍での開催ということもあり、受講者が集まるかという不安はございましたが、ここ10年で最も多い方々に受講していただき、成功だったと考えております。

裏面には、サンプルとして第1講座と第3講座の際にお願いしたアンケート結果を参考までに記載しています。

2番目の「どのように知ったか」という質問で回答が多かった「新聞」については、朝刊では小樽後志版、夕刊では札幌も含めた道央版に掲載してもらいました。

また、ここには記載しておりませんが、STVで放映している土曜日の「フラッシュニュース」、札幌の大通の地下街にあるデジタルサイネージなども活用しまして、市外の方への周知にも努めてきたところです。

来年度の内容は、今後、実行委員会で協議していきますが、引き続き多くの方に満足していただけるような生涯学習の機会の提供に努めていきたいと考えております。

報告は以上であります。

**教育長** 本件に関しまして、御質問・御意見等ございましたらお願いします。

**各委員** (なし)

**教育長** ここ10年では一番多くの方に来ていただいたということです。  
市制100周年記念事業と銘打ちましたので、多くの方にいらっしやっていただけだと思います。

小澤委員、何か感想はございますか。

**小澤委員** 第2講座は都合が悪く聞くことができなかったのですが、他の講座は聞かせていただきました。

ヤマザキマリさんや、堀川三郎さんの話を時間を忘れるくらい楽しく聞かせていただきました。

市制100周年ということで、堀川氏には小樽の運河論争についてしっかりとした分析を聞かせていただき、改めて小樽の歴史の一端を理解出来たということと、小樽市民の方々の運河を残していくということについての非常に強い意思が色々な流れの中で作られてきたということが分かって、非常に興味深い講演だったと思います。

**教育長** そうですね、ヤマザキマリさんと堀川三郎さんの講座は非常に反響が大きく、新聞でも取り上げられ、かなり聞き応えがあったと思います。

**小澤委員** 札幌からも40人来られたということで、講師の方の選定によっては札幌からもこうして来ていただけるんだということを改めて感じました。

**教育長** そうですね。

今までもアンケートで札幌市から何人来ているかという集計はしているのですか。

**生涯学習課長** 集計はしておりますが、前回どれくらいだったかは覚えていないんですけども、今回特にヤマザキマリさんの講演を聞くために、市外から来ている方も多かったというふうに考えています。

教育長 分かりました。  
他に何かございませんか。

各委員 (なし)

教育長 来年度も市民の皆さんの興味が湧くような方をお招きできるよう、実行委員会で色々と知恵を出し合って工夫していきたいと思えます。  
それでは、本件を終了させていただきます。  
続きまして、「その他 寄附採納について」の説明をお願いします。

#### **その他 寄附採納について**

教育総務課長 寄附が6件ありましたので、御報告いたします。

- 1件目は、井上天様から、小樽市奨学資金基金に30万円を御寄附いただきました。  
井上様は長崎屋にある「どんと」をかつて経営されており、小樽市民への御礼ということで御寄附されたということを伺っております。
- 2件目は、角総一郎様から、電子ピアノ1台10万5千円相当を御寄附いただきました。  
角様は不要になった電子ピアノの相談を朝里小学校職員にしたところ、朝里小のキーボードが故障していたということで御寄附に至ったということを聞いております。
- 3件目は、志和裕様から、小樽市交通災害遺児奨学資金基金に1万円を御寄附いただきました。  
志和様からは平成12年より御寄附をいただいております、先月に引き続き今回で31回目、総額は36万円となります。
- 4件目は、色内小学校130周年記念事業タイムカプセル開封世話人様から、新刊図書15冊2万円相当を御寄附いただきました。  
タイムカプセルの事業を行ったところの残金を御寄附いただいたということを聞いております。
- 5件目は、高坂啓子様から小樽市奨学資金基金に10万円を御寄附いただきました。  
高坂様からは、平成14年より御寄附をいただいております、10月に引き続き今回で36回目、総額は455万円となります。
- 6件目は、匿名の方から昨日ですけれども、小樽市奨学資金基金に1,000万円を御寄附いただきました。  
報告は以上です。

教育長 本件に関しまして、御質問・御意見等ございましたらお願いします。

各委員 (なし)

教育長 いつも御寄附をいただく方々に加えて、今回1,000万円という御寄附をいただいたということになります。

お名前は申し上げられませんが、小樽在住の方でこの街が好きで、お世話になったということで御寄附いただいたということでございます。

小樽市奨学資金基金の1,000万円については、約3年分の資金になりまして、ちょうど資金が枯渇しはじめている状況ですので、大変ありがたいことです。

高坂様からも御寄附をいただいて非常に助かっており、大変感謝をしております。

大切に使用させていただきたいと思えます。

これで、本件を終了させていただきます。

それでは、ただ今から非公開の審議に入りますので、報道関係者及び傍聴者の皆様には御退席をお願いいたします。

<非公開の審議開始>

#### **協議第1号 令和5年度教育費予算案について**

教育総務課長から、「令和5年度教育費予算案について」説明し、小澤委員、常見委員、黒田委員から意見と質問があったほか、全委員により協議した。

#### **報告第6号 望洋サッカー・ラグビー場について**

生涯スポーツ課長から、「望洋サッカー・ラグビー場について」説明し、全委員により了承した。

<非公開の審議終了>

教育長 以上で、教育委員会第12回定例会を閉会いたします。